

## 《グラウンドゴルフの会》 グラウンドゴルフに一度ご参加を

令和6年度のグラウンドゴルフの実施状況は以下の通りです。

- ◆第1回「グラウンドゴルフの集い」  
五月十四日（火） （参加8名）
- ◆第2回「グラウンドゴルフの集い」  
六月十八日（火） （参加8名）
- ◆第3回「グラウンドゴルフの集い」  
十月二十二日（火） （参加6名）
- ◆第4回「グラウンドゴルフの集い」  
十一月二十六日（火） （参加4名）
- ◆第5回「グラウンドゴルフの集い」  
一月二十一日（火） （参加6名）
- ◆第6回「グラウンドゴルフの集い」  
二月四日（火） （参加6名）

会場は全て岩槻文化公園（槻の森）陸上競技場（芝コート）のAかBコートでした。

グラウンドゴルフは、単純過ぎて面白みに欠けると思われ方もいらっしゃると思いますが、しかし、ある程度の期間続けると、意外に奥が深いことが分かると思います。



1月21日の参加者

最初はだれでも簡単にプレーに参加できませんが、一定の良い成績を収めるのは、かなり難しいと思います。  
グラウンドが  
芝や草の場合

は、草や芝の長さ、生えている向き、湿り具合等が、ゴルフ以上に玉の転がり方に影響し、グラウンドが土の場合だと、土の性質や状態（砂利・粘土・細かい砂・固さ・凸凹・地表の水気・葉や草や小石等の障害物の存在）により、玉の打ち方や転がり方は、著しく異なってきます。

ゴルフとの大きな違いは、狙うホールが太さ5ミリ程度の針金の輪になっていて、その輪に同じ太さの3本の脚が付いており、この3本の脚が邪魔をし、輪の中心の太さ直径4センチ程度の金属棒に当てて、玉を輪内に留めるのを困難にします。

また、ホールが穴でないため、入ったはずの玉が輪の外に出てしまうことも多く、ストリスも溜まります。



コースは、15m・25m・30m・50mの4ホール×2の8ホールを4回まわる、計32ホールのプレーが標準で、一般的には16ホールをプレーした後には休憩をとります。

ゴルフとの大きな違いは、玉とクラブの大きさ・重さ・形、玉を空中に打ち出すか地表を転がすか、ホールが穴か輪か、ホールインワン一回に付きグラウンドゴルフでは合計打数からマイナス3、玉を転がすコート上のゴミや小石の除去の可否等でしょうか。

一度試しにご参加ください。実施曜日に關するご意見は、担当までお知らせください。

（担当 副会長 佐藤憲克）